

科目名	生活経済学	科目分類	■専門科目群 □総合科目群		
			経済学部	□必修	■選択
			学部	□必修	□選択
英文表記	Life Economics	開講年次	■1年 □2年 □3年 □4年		
		開講期間	□前期 ■後期 □通年 □集中		
ふりがな	フカサワ ヤスオ	実務家教員担当科目		修得単位	2単位
担当者名	深澤 太郎	実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用		
授業のテーマ	日本の多くの人々の生活水準は、明らかに低下し、実質所得の格差、現役世代が不利になる方向で世代間の格差は拡大しています。このことを経済データで確認し、解決策を探ります。また、 金融の基礎知識 についても学びます。				
到達目標	この授業の単位を修得した場合、次のような知識・能力を修得できます。 1. 日本の2つの格差問題、世代間格差と全体格差の実態が理解でき、なぜか普通の人々は貧しくなっている実態が明確に理解できる。 2. 個人として、2つの格差から逃れる手段が明瞭となり、今後の人生に対する意識付けが可能となる。				
授業概要	受講者数にも左右されるが、理想としては、事前に掲示資料に目を通してもらい、授業中には可能な限り、各項目についての質問を行う。経済指標等のデータに基づき理論を確認し、その上で自ら考える姿勢の基礎を身につけてもらいたい。				
授業計画	(ポータルサイトに掲示された資料等は、すべて試験範囲に含まれます)				
第1回	イントロダクション：現在の世界経済の状況、GDPとは何か？掲載資料				
第2回	日本の立ち位置、秋田県経済の概要 掲載資料				
第3回	日本の人口問題（1） 掲載資料				
第4回	未婚の経済的要因（1） 掲載資料				
第5回	未婚の経済的要因（2） 掲載資料 アンケート調査				
第6回	現在価値とスポットレート 掲載資料				
第7回	企業財務と株価 掲載資料				
第8回	中間レポート（テスト形式）（持ち込み可）				
第9回	中間レポート 回答と解説 なぜ非正規雇用が増えたか（1） 掲載資料				
第10回	なぜ非正規雇用が増えたか（2） 掲載資料				
第11回	オプションとは何か？ 掲載資料				
第12回	世代間格差 社会保険制度はここまで不平等なのか？（1） 世代間戦争 掲載資料				
第13回	世代間格差 社会保険制度はここまで不平等なのか？（2） 公的年金制度のおかしな実態 掲載資料				
第14回	なぜ世界は格差が拡大するのか？ 掲載資料				
第15回	まとめと「現在価値とスポットレート」の再説明 掲載資料				
第16回	定期試験(持ち込み不可)、期末レポート（テスト形式）（持ち込み可）				
授業時間外の学習	掲示資料は事前に通読し、疑問点があれば質問すること（約0.5～1時間）。 確認のための復習をすること（約0.5～1時間）。				
履修条件 受講のルール	マクロ経済学Ⅰの単位を取得済みか、少なくとも同時に履修すること。 適宜資料を掲示しますが、欠席した場合はポータルサイトを復習してください。 この授業は1年生にはやや難易度が高いと思います。受講者の理解度等を考慮して、シラバスを変更する場合があります。				
パソコン使用について	受講者はかならずパソコンを持参すること。資料ポータルサイトに掲示します。また授業でパソコンを使用して、経済データの分析、グラフ作成を行う場合があります。				

	なお、長文資料等については、正しい理解ためにはプリントアウトが必要な場合があります。そのコストは自己負担となりますが、適宜判断して下さい。
テキスト	ポータルサイトに掲示する資料
参考文献・資料	日本経済と財政危機の本質シリーズ1「崩壊する家族！」深澤泰郎、同シリーズ6「日本の構造問題 世代間格差！社会保険制度はここまで不平等なのか！」深澤泰郎
成績評価の方法	中間レポート（40%）、定期試験（10%）、期末レポート（40%）、その他（10%） 出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。
オフィスアワー	火曜日 13:00～14:30 14:40～16:10 金曜日 13:00～14:30 14:40～16:10
成績評価基準	秀（100～90 点）、優（89～80 点）、良（79～70 点）、可（69～60 点）、不可（59 点以下）
実務経験及び実務を活かした授業内容	
学生へのメッセージ	日本の現在の社会の仕組みは、時代に合わない社会保障制度等、不適切な面が多くあります。このままでは、株価が最高値を更新したとしても、日本経済の将来は相当暗いと言わざるを得ません。受講することによって、その中で「個人として幸福になるために努力する」覚悟が定まると思います。またそのような生き方も一緒に探ります。